

宮池あきら みやいりしんじょうレポート



プロフィール

昭和40年5月9日
生 44歳

昭和53年
市立佐保小学校卒

昭和56年
市立春日中学校卒

昭和59年
県立奈良工業高校卒
自動車整備工場入社

平成16年
大阪に職籍を移す

平成21年市議会議員
選挙初当選

《 自 宅 》
〒630-8144
東九条町 1154-5

TEL & FAX
0742-63-1551

E-MAIL:
miyaikej@yaho.co.jp

《公明党奈良市議団》
〒630-8580
二条大路南1丁目
1番1号

TEL
0742-34-4789

FAX
0742-34-4913



こ 挨拶

奈良市議会議員 宮池 明

皆様の温かいご支援を賜り市政へと送り出していただき心より感謝を申し上げます。私は徹底して生活の現場でお声を聞かせていただき、皆様が「住みよいなら、素晴らしいまち」と喜んでいただけるように福祉・教育・文化芸術・観光をはじめ様々な課題に全力で取り組んでまいりる決意でございます。

この度、手作りの活動レポートではございますが発刊させていただきました。今後、定期的にご報告ができるように取り組んでまいります。



初めての定例会(9月定例会)

9月7日より開会された9月定例会の平成20年度決算特別委員会で初質疑に望みました。質疑項目9問を取り上げその中で2問は、選挙を通してお声を寄せていただいた内容を質疑しました。

①平城運都 1300年祭の市民の関心度と奈良市の取り組みについて

市が20億円の負担金を拠出する1300年祭の事業の割には市民の関心度が低く、どのようなイベントが行われるのかといったPR不足を感じ、今後の具体的な取り組みを質問しました。その中で「市民の皆様が企画・自主運営していただく市民連携企画補助7事業の内容を広報に努める」と答弁がありました。そこで事業規模の大きさと忘れがちな細やかな配慮が必要と再質問し、少しでも市民の皆様身近に感じていただくために回覧板でも広報紙を付帯するよう提案しました。

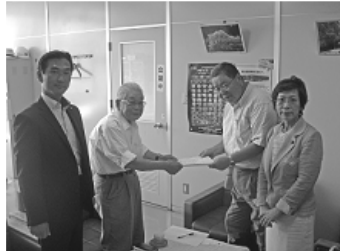
②なら子どもサポートネットの国公立、私立学校園への取り組みについて

本市の宝である子ども達への安全・安心を確保する市独自の取り組みであります不審者情報配信サービス「なら子どもサポートネット」について、「市内の国公立・私立学校園情報がなかなか配信されない」と、お声が上がっていると質問しました。「市としましては、国公立・私立の児童はそれぞれの学校園が安全確保に努めておりますが、一層積極的に国公立・私立学校園に対して情報の提供を呼びかけ情報内容を確認し、配信に努めてまいります」と答弁がありました。私は子ども達の笑顔を絶やさない、輝く奈良市の安全・安心のまちづくりに取り組んでまいります。



県道「谷田奈良線」の歩道整備の要望書を提出！

法華寺地域の皆様の要望であります県道「谷田奈良線」の歩道整備の要望書を9月25日に塚本武利



佐保川地区自治連合会長と畠真夕美県議会議員とともに奈良県奈良土木事務所を訪れ松井康所長に提出しました。現状と地域の皆様の要望を訴え早期実現に向けて取り組まれたいと申し入れ、地域の意見を取り入れながら進めて参りたいと返答がありました。

佐保川清掃

佐保川の自然環境を守るために有志で毎月1回、法蓮町周辺の佐保川の清掃をしています。タバコの吸殻やゴミ袋、ペットボトル、空き瓶、空き缶、さまざまな不法投棄されたゴミがあり、愛する奈良のきれいな自然環境を守るためにメンバー団結して日々努力をしています！

佐保川ガーディアンズのメンバー



「ヒブワクチン接種の公費負担助成を求める申し入れ書」を提出！



小児細菌性髄膜炎を引き起こすインフルエンザ菌b型を「ヒブ」と呼ばれ、せきやくしゃみなどの飛沫を介して血液や肺の中に入り込み、脳や脊髄を侵す恐ろしい病気です。

乳幼児の細菌性髄膜炎は、国内では年間約1000人の子どもたちが自然感染で発症。患者の25%に知的障害や聴覚障害などの後遺症が残り、5%が死亡する深刻な病気のひとつです。

昨年末、日本でもヒブワクチンの販売が始まり、任意接種が開始されました。

公明党奈良市議団は、本年の6月定例会代表質問で公費負担助成を求め、そして9月28日に仲川市長へ子育て支援策及び感染症対策の観点から

乳幼児へのヒブワクチン接種の公費負担助成を早期に実施されることを申し入れました。



申し入れ内容

2. 奈良市として、ヒブワクチンの公費助成を早急に実施すること
3. ヒブワクチン接種の有効性について、意識の啓発を行い、普及促進を図ること
4. 国や県に対して、ヒブワクチンの定期接種化と予防接種助成制度の拡充を求めていくこと

